

# 議会だより

3月定例会は3月4日開会の予定です  
議会(本会議・委員会)の様子をご覧いただき  
ご意見をいただければありがたいです。  
多くの町民の皆様の傍聴をお待ちしています。

- ◆新年のご挨拶…………… 2ページ
- ◆一般質問…………… 2～6ページ
- ◆予算・決算特別委員会報告…………… 7ページ
- ◆委員会他報告…………… 8～11ページ
- ◆質疑・討論・採決…………… 12～13ページ

自家製のヤキイモを販売する  
永野 和夫さん



初春のご挨拶

議長 濱田守好

新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで、お健やかなうちに新春をお迎えになられましたこと、心からお喜び申し上げます。

昨年の流行語として「子供店長」「草食男子」「ぼやき」など、世相を表す言葉がありました。また、「新型インフルエンザ」という言葉もあり、新たな危機のなかで政府や地方自治体も対応に追われる一年でした。国政を表す「事業仕分け」という言葉もあり、流行語大賞

には「政権交代」という言葉が選ばれました。

選挙による「政権交代」が実現したのは初めてのこと、私達も「喜」憂しましたが、日米安全保障問題やマニフェスト(国民との約束)実現性など、多くの課題を抱えての船出となり



あけましておめでとうございます

副議長 勝本繁昭

皆様には、ご家族お揃いで晴れやかな新春を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、日頃から本町の議会活動につきまして、格別のご理解ご協力を賜りありがとうございます。

昨年は16年ぶりに政権交代があり、新政権のマニフェストに従い平成22年度予算は大変厳しいものと危惧するところであ

りました。そして政権が代わっても相変わらず政治家の“お金”を取り巻く問題がクローズアップされています。

そんな中で、さまざまな課題が地方に求められています。地方主権という言葉が示す通り、これからは地方が一段としっかり対応していくことが求められます。地方から国を変えていくという気概が今必要なのではないでしょうか。

高浜町議会も、開かれた議会、信頼される議会、地方主権を担える議会を目指し、皆様のご指導をご叱責を糧とし改革すべきは改革し取り組んでまいり所存です。

最後になりましたが、本年が皆様にとってよりよい年でありますよう祈念申し上げます。

ります。

町議会としましては、これまで以上に政策提案、立案を強化し、町民の皆様との連携を密にしながら、様々な課題に対して全力を挙げて取り組んでいきたいと考えています。

年頭にあたり皆様のますますのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。そして、新年のご挨拶といたします。



横田則孝

当初予算の編成方針と事業仕分けについて

答弁 マニフェストの実施を進める。

問

当初予算編成に当たり、目玉となる政策事業について問う。

高浜町の財政状況は、平成20年度の経常収支率は99.5%となり、自主財源のほとんどが経常的な行政経費にあてられており財政の硬直化が進んでいる。今こそ経費の削減と合理化を図り、ムダをなくすべきと考える。高浜町も事業見直し、事業仕分けをしてみてもどうか問う。

答

町長

地域医療並びに子育て支援の推進等「暮らしの安心度の向上」への取り組みをはじめ、次期総合計画の策定やマニフェストに掲げている施策の実施に向け、鋭意取り組む。

事業仕分けにおいては、行政主導による予算査定でゼロベースでの見

直しを図り既存事業のスクラップや統廃合を進めたいと考える。

問

閃き集落座談会の評価と結果について問う。

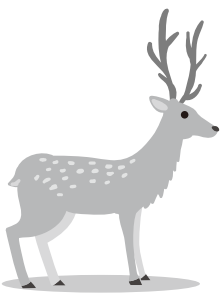
今年3月頃より11月までの約8ヶ月に渡り延べ57ヶ所の集落を廻りましたが、その時、いろいろなご意見が出たと思うが、町長として、そういったご意見や疑問の声に対して今後どのように取り組まれるのか問う。

答

町長

有害鳥獣対策、海岸漂着物の処理、夏期イベントの集約など、何らかの形で来年度予算案に盛り込んで行きたいと考える。

座談会は私自身の「閃き」を求めて始めたものである。お互いの「閃き」のキャッチボールによって町づくりの輪が広がると考える。今後も皆さんのご参加がいただけることを期待する。





田中宏典

## 障がい者ケアホームの整備を！

答弁 コンパクトシティ構想の中で検討していく。

### 問

「高浜町第2期障害福祉計画」には、平成23年度までの障がい者施策の方向性が示されている。特に働く場所や生活の場の充実、支援体制や供給基盤の整備が不可欠であり計画的に進めていく必要がある。

### 答

町長 福祉課長

① 現在、障がい者の就労訓練などを行う事業所は町内になく、小浜市や舞鶴市などの事業所を利用している。今後、利用者のニーズ調査を十分に行った上で、就労形態の検討や運営主体が参入しやすい環境を整えていく。

② ある程度自立した共同生活が可能で民間のグループホームは、町内に

3箇所あるが、入浴、排せつ、食事などの介護を行うケアホームはない。

### 問

「高浜コンパクトシティ構想」を本気で取り組むのであれば多くの財源を伴い、また住民の協力がなければできない。今後の取り組みについて問う。

### 答

町長

今年度は全体構想、施設・機能の洗い出し、課題抽出、さらに概算費用・予定財源の設定などを進めている。

今後は、庁内にプロジェクトチームを設け、具体化作業に入るとともに住民の皆さん、とくに当該エリアの方々には趣旨を説明しながら、協力をお願いできる体制を整備していきたい。作業が本格化するのには、22年度になるが、住民の皆さんに対する広報についてはしっかりと行っていきたい。



磯部 武史

## 漁業、燃油高騰対策の継続を

答弁 一旦終了、補正で対応。

### 問

漁業用燃油高騰対策助成金制度は、21年度が最終年度となる。制度は、燃油価格が1ℓあたり80円を超えた場合5円の補助を行うものであるが、現在は80円以下で推移している。

しかし、投機マネーの流入や温室効果ガス削減問題など、燃油価格は不安定な要素も多く、高騰する可能性も否定できない。

魚価の低迷など、厳しい経営状況が続くなか、漁業に不可欠である燃油高騰対策助成金制度の継続を求める。

### 答

まちづくり課長

(財)水産振興公社の対策事業との強調により、漁業者支援の事業効果は図られたものと認識している。現下の石油価格はおおむね下げ基調を呈しており、大きく急騰する環境は見受けられない。

本年度の補助金についても不執行の見通しであり、補助事業は一旦終了する。

再び急騰する情勢が現れれば、対策事業の復活も検討する。

### 問

年度途中でも、補正によって対応できるということか。

### 答

町長

(財)水産振興公社の対策事業を継続しながら、再び高騰すれば補正予算を組み対応する。



漁船に給油中の写真  
12月16日現在 1ℓ 71円



小幡 憲仁

「事業仕分け」を  
高浜町でも実施しては

答弁 既存事業見直しの手法として先行事例を検証する。



問 政府の行政刷新会議は予算の無駄を削る「事業仕分け」を行った。この事業仕分けは国民の高い関心事となり評価を得た。高浜町も新規事業の財源を捻出するため事業仕分けを行ってはどうか。



答 町長 新年度予算編成では、事業の統廃合や形骸化した事業をスクラップして予算編成に取り組んでいる。事業仕分けは、既存事業の抜本的見直しの手法として、先行自治体の状況等を検証する。



◆県の直轄事業負担金廃止を働きかけるべき  
答弁 町村会等で意見集約し各市町と連携して取り組む  
全国知事会は国の直轄事業負担金の廃止を求め、前原

国交相は段階的廃止を明言した。

国の直轄事業負担金と同様の仕組みで、県直轄事業の市町村負担金がある。廃止を表明する県も出てきており、福井県でも早期廃止するように働きかけるべき。



答 建設整備課長 福井県も今年度より維持補修工事は負担を求めている。

今後は国、他府県の動向と市町の意見を聞き検討するとしている。高浜町としても町村会等を通じ連携して取り組む。



◆新型インフル流行による  
国保会計への影響は

答 町長 新型インフルエンザ流行による国保会計の影響を問う。



答 住民課長 国保の加入者状況や新型インフルエンザの平均的な診療費から推計すると、現予算で対応可能である。しかし2月以降に更なる医療費増加があれば3月補正で対応する。



渡辺 孝

国民健康保険税の  
引き下げを

答弁 他市町と比較して高負担ではない。



問 国民健康保険特別会計は、ここ数年実質単年度収支が黒字に転じている。特に後期高齢者医療制度が発足した平成20年度は「前期高齢者医療費に関する財政調整」が導入されたこともあって多額の黒字を生み、基金残高は1億6、000万円余となっている。国保税が高いという町民の声にこたえて引き下げの考えはないか。



答 住民課長 国保は、低所得者のための法定減免制度（7割、5割、2割軽減）がある。また、他市町と比較しても高負担ではない。基金残高については緊急かつ高額な医療費に対応するため必要である。今後ますます高齢化率が高まることを考えると税率を下げるべきではないと判断す

る。



◆高校通学生への通学費の助成を  
答弁 制度の煩雑化、  
公平な運用が難しい

問 経済不況が家計を圧迫するなか、全国的に高校生の中途退学が大きな社会問題となっている。次代を担う世代の育成は政治の責任である。高校生をもつ町民家計への直接の応援のため、通学費の助成をする考えはないか。教育委員会事務局長



答 平成16年の、県立高校の学区制撤廃により生徒はどの高校にも進学可能となった。また、私立高校、専門学校など多種多様に進学している。そのため公平な助成が難しい。また恒久財源が必要となる。各種奨学金制度も充実しており、現段階では通学助成は困難である。





勝本 繁昭

## 内浦港の見直しは

答弁 再評価結果次第。

問

政権交代や事業仕分け等がされている中、内浦港の財源見直しはどうか。

建設整備課長

答

内浦港は、昭和44年に地方港湾の指定を受け、主にロシアからの原木の輸入や近年は中古車を輸出する貿易港として利用されてきたが、近年の船舶の大型化に伴い、貿易港としての更なる機能充実に求め、要望活動が実を結び、地域再生計画により港湾施設の拡張整備が進められてきた。

また、政権交代や国の事業仕分けにより内浦



また、政権交代や国の事業仕分けにより内浦

湾の整備財源や工事完成の質問については、今回の事業仕分けの対象事業にはなっていない。したがって、今後の事業推進としては、再評価委員会に諮ったうえで、結論付けていきたい。

◆国道沿いの公衆トイレの廃止を

答弁 全面改修まで使用

問

国道27号線沿いに2箇所の公衆トイレが設置され永年

利用されて来た。近年は清潔で高齢者や障害者にやさしく利用できる立派なユニバーサルトイレが道の駅やJRの各駅に整備され利用者も多い。夜間、照明も点灯していない既存のトイレを撤去してはどうか。

答

まちづくり課長

現在、町内全域で40箇所のトイレがあり、その内、国道沿線に隣接する公衆トイレは、観光協会和田支部横と湯谷口交差点の宇治区広場の2箇所の質問ですが、何れも平成2年度の建設であり、充分使用機能を有し、利用者からの苦情もなく利用していただいている。

景観上、また、防犯上支障を来たさない状態であれば、現状での維持管理の範囲で供用していく。



栗野 明雄

## 臓器移植についての考え方

答弁 活動団体を支援する。

問

平成21年度7月、脳死の下での臓器移植を本人意思が不明でも、家族の同意があればできるという法案が可決した。

高浜町でも人工透析など、腎臓の治療をされている人もいる。アイバンクでは、角膜移植で光を提供する手助けをしている。このようなことは提供する人の善意が無くてはできない。

献血は日赤奉仕団が手伝い、産業祭りには、腎友会がパンフレット配布で啓蒙活動を行っている。行政として、どのような活動をするのがなじむのか。

答

保健課長

各種団体から送られてくるものを窓口に着せ付けている程度である。行政はその目的、仕組み、登録の方法を周知すること、活動を行っている団体を支援することが適当で

ある。献血については職員も協力しているが、臓器移植の周知についても検討していきたい。

問

高浜病院では、臓器の提供をした人が現れたとき、対応ができるのか。

答

保健課長  
わからない。

◆現在の都市計画の

抜本的見直しを  
答弁 見直しを検討したい

問

都市計画が制定されてからずいぶんと月日が経つ。当初計画をした道路はいっこうに実行に移す気配が無い。住民は、計画の影響を受け、自由に自宅の新築ができなかったところもある。抜本的見直しが必要だと思う。

答

町長 建設整備課長

よりよい景観を形成する気運が高まり、景観計画の策定を進めている。また、次期高浜町総合計画の策定にも取り組んでいる。

都市計画は、コンパクトシティ構想と社会情勢、地域の状況と整合性をとりながら、見直しを検討したい。



池田 康信

### 原子力発電に対する 所見は

答弁 安全性を確保し  
着実に推進する。

**問** 町の最重要基幹産業である原子力発電に対する町長の姿勢について問う。

①高経年化評価 ②プルサーマル計画③町・電力事業者・一体化での啓蒙、啓発の努力④政権交代による事業仕分評価（交付金）

**答** 町長・総務課長

①運転開始40年目の発電所の安全確保の管理は国の責任で厳正な審査のうえ認可されるがその動向を注視し町民への説明を求めらる。②プルサーマル計画は高浜3・4号機において平成22年度からMOX燃料装荷する計画である。核燃料サイクルを着実に推進することは必要と考えている。③原子力発電に対する啓発活動は国、事業者、町のそれぞれの立場で広報活動を実施している。④政権交代による

事業仕分の考え方は電力安定供給の重要性・温室効果ガス削減などの観点から当該交付金の使途も自治体に自由裁量を、との観点から算定率を見直す方向で検討される。立地地域の努力が報われるよう期待する。

**問** 若狭和田駅南側町有地の有効利用は。

町有地約4000㎡は区画不整形であり現在実施中の圃場整備事業と併せ行う区画整理を行ない土地の付加価値を高めるべきと思うが。

**答** 財政課長  
地元交渉の余地はあるが困難と思われる。

**問** 土地利用計画の見直しは。町の計画は策定時から相当年数を経ているが長期計画を含めて見直すべきではないか。

**答** 副町長  
次期総合計画・コンパクトシティ構想など踏まえて取り組むたい。



的場 輝夫

### 若狭消防本部の 集約に強く反対せよ！

答弁 慎重に最善策を模索する。

**問** 福井県消防広域化推進計画については、若狭消防組合に何の問題も無く満足のいく運営がされており、これ以上の集約に對しては、早い段階で明確に反対の姿勢を打ち出すべき。

**答** 総務課長・町長  
県は、敦賀美方消防組合との統合する前提で、検討を進める事となっているが、審議はこれからであり、町としては慎重に最善策を模索していきたい。

**問** ①地域医療体制の確立年度はいつか。②医療フォーラムへの参加町民が激減した原因は。

**答** 保健課長  
①高浜病院・和田診療所の機能の整備・再編は平成25年度を目標としている。②2回目は各種団体への呼びかけせず自主参加での開

催とした。  
ゲートボール協会等からの雨天体育施設の整備要望に、新年度予算で応えるのか。  
教育長  
ある程度の候補地は絞っている。新年度予算で調査費は計上する予定である。管理運営等の課題は関係者と調整する。

**問** ①高浜コンパクトシティ構想の完成年度②総額の概算は③完成に向けての最大の課題は。

**答** 町長  
まだ私の「私案」の段階だが、①今後十年程度で完成予想②原発関連交付金・国や県の補助等の活用も考えるが、数十億単位の費用となる。用地確保・財源・町民の理解。

**問** 各担当に町民視点に立った新規事業、及びスクラップ事業の目標数を指示する事。同時に査定する副町長・町長も町民の期待にどう応えるかの視点と、各担当の職員の理解を重視し査定に臨むべき。

**答** 副町長  
既存事業のゼロベース化を睨み、町民視点重視で対応する。

議

## 予算・決算特別委員会報告

委員長 小幡 憲仁

### 《審議事項》

◎付託案件の審査

■議案第65号 平成21年度高浜町一般会計補正予算(第5号)

### 《補正予算の概要》

平成21年度一般会計予算に歳入歳出それぞれ820万6千円を追加し、総額72億8,688万8千円とする。

### 《審議の概要》

●主な質疑と答弁の内容

◎交通空白地域活性化事業(デマンド型タクシー運行)の補助金578万8千円の補正について現状の利用状況等について質問があり、現状としては稼動していない便もあるなど低い利用状況であることが報告された。このため、当初予算では通年分の予算計上をせず、下期に見直しを図る方針で臨んだが、集落座談会での住民意見や地域交通会議での議論も踏まえ、基本的に現行の運

行体制を維持することとし、今回の補正予算で予算増額を行ったとの答弁があった。

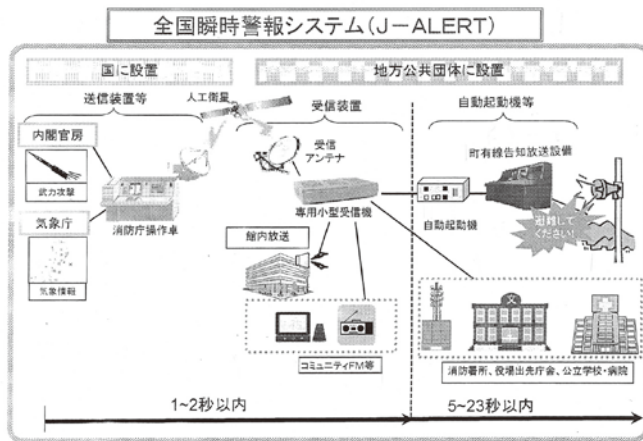


デマンド型タクシー

◎政権交代に伴う国の補正予算見直しにより「子育て応援特別手当支給事業」1,264万5千円が執行停止されたが、このことに対する町内の影響についての質問があり、高浜町は支給手続き事務に入る前段階で執行停止があったため行政事務上の影響はなく、受給対象者からの苦情等もなかったとの答弁があった。

◎全国瞬時警報システム(J-ALERT)整備工事912万円に関して質問があり、このシステムはわが国がミサイル等の武力攻撃を受けた

場合や異常気象情報など国の情報を人口衛生を通じて各自治体に伝達する装置であるとの説明があった。具体的には役場に自動起動機を設置し、国の発信情報が有線告知放送設備を通じて情報伝達され、屋外の放送設備から避難が告知されるものである。



◎放課後児童健全育成事業19万5千円の補正に関し現在の利用状況等について質問があり、利用人数が増えていることから、各施設ともキ

ャパシティーの余裕が少なくなっているとの報告があった。このため、今後は受入れの年齢制限について現在は事情によっては小学校6年生まで受入れしていることの厳格化と、夏休み等の長期休業時の小学校校舎の利用についても検討していくとの答弁があった。



放課後児童クラブ(教育会館)

### 【討論と採決の結果】

◎反対討論 乳幼児医療費拡充準備予算など評価する面もあるが、人事院勧告に基づく職員給与引き下げで人件費が削減されており認められない。

◎採決の結果賛成多数で原案可決

## 総務産業

### 常任委員会報告

委員長 栗野 明雄

■高浜町振興計画審議会条例の一部を改正する条例

【全員賛成で可決】

■団体宮中山間地域総合整備事業（一般型）高浜地区の計画変更

横津海地係の圃場整備と南山手線との整合性をとるべきである。との意見が出された。

【全員賛成で可決】

■高浜町道路線の認定

【全員賛成で可決】

■高浜町道路線の変更

【全員賛成で可決】

■政府への日米間におけるFTA（自由貿易協定）締結に反対する意見書提出に関する陳情

【全員賛成で可決】

■新保険法の適用除外を求める陳情

この新保険法は、消費者に被害をもたらしたオレンジ共済のようなニセ共済を規制して、消費者を保護するものである。しかしJA共済などと違って根拠のない自主共済は

存続が困難になったため、新法の適用の除外を求めている。

陳情者を呼び、組織状況、破綻の懸念、財政状況を確認した。

【全員賛成で採択】

■政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府買い入れを求める請願（継続審議）

国と請願者の数値、整合性がとれないとの意見が出された。

【賛成者なく不採択】

■先端技術状況視察

水産業の先端技術状況を見るため福井県栽培漁業センター、県立大学研究センターなどを視察した。

DNAを用いたトラフグの有料種苗作出技術、ヒラメ、バフンウニ、アワビ、鮎の種苗生産。

宮台教授より東京大学との共同研究の現状説明を受けた。ヒラメの放流、ズワイガニの養殖の説明を受けた。

## 厚生文教

### 常任委員会報告

委員長 田中 宏典

《付託案件》

■国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

【全員賛成で可決】

■介護保険特別会計補正予算（第3号）

主に、介護報酬の見直しと病院からの退院促進による居宅介護サービスが増加したため、五つの給付事業でそれぞれ補正計上された。

【全員賛成で可決】

■乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正案例

来年4月から中学校卒業まで対象年齢を拡大するための条例の一部改正。

子育て支援策として十分な効果を期待するとともに、コンビニ受診など患者のモラル向上や事業の趣旨を十分啓発するよう意見が出された。

【全員賛成で可決】

■町立小中学校情報教育システム備品購入契約

◎契約金額

8,030万4,000円  
◎契約の相手方

株式会社 ラボ（小浜市）

【全員賛成で可決】

■心身障害児（者）ケアホーム設置に関する陳情書

委員会として、今後積極的に取り組んでいくことを確認した。

【全員賛成で採択】

■現地調査

福祉、教育施策の現状を確認するため、若狭つくし会の「高浜つくし寮」（グループホーム）、青郷小学校体育館（6月からリフレッシュ工事）、4月に廃校となった旧日引、神野小学校を視察し、担当者から説明を受けた。



改修工事を終えた青郷小学校体育館



## 議会改革調査

### 特別委員会報告

委員長 的場 輝夫

本委員会の運営方針について委員長より、「委員会運営については、議会にかかわる全ての課題について十分な審議を尽くし、大方の賛同を得られれば本委員会提案の発意として本会議にかけるが、それ以外は議員の自由判断とする。」との提案があり、了承された。

## 第2回特別委員会

① 21年度の町会議員の年末賞与について、委員長より「今回限りの扱いとして0.15ヶ月減とする。」との提案について、審議を尽くしたが大方の合意に達せず6月賞与減にむけ、近隣議会と調整することとした。  
② 今後の委員会審議スケジュールは、委員長提案が了承された。

## 第3回・第4回委員会

政務調査費制度の導入について審議し大方の合意を得られ、理事者側と調整する事とした。

## 予算決算特別委員会

常任委員会移行については、見送りとなった。

## 原子力対策

### 特別委員会報告

委員長 的場 輝夫

■ 11月30日、関西電力原子力発電立地町議会連絡協議会の三町の役員9名と事務局長3名で大阪の関電本社に対し、立地三町（高浜・おおひ、美浜）の要望を強く伝えた。同時に関電中央給電所を視察した。

■ 12月15日、原子力対策特別委員会を開催。

関電高浜発電所長・副所長・安全防災室長等を招聘し、  
① 高浜発電所の現状と課題  
② 高経年化対策  
③ 原子力福井ブランド広報等について、質疑意見交換を行った。

■ 本委員会の視察研修については、プルサーマル導入先進地の、浜岡原子力発電所を視察・研修する事が決定された。

## 鳥獣害防止対策調査

### 特別委員会報告

委員長 山本 富夫

当委員会は、11月に獣害調査を高野・今寺地区において実施した。その結果を踏まえ高浜町全域の調査及び懇談会を1月～3月に開催することを確認した。その後、日引地区の棚田に設置してある獣害防止電気柵（恒久柵）の現地視察を行った。高浜町では、最初に設置されたもので来年度から残り800mを追加設置し集落全体を獣害から守る取組みが計画されていることを確認した。



日引地区棚田獣害防止電気柵

## 地域医療対策

### 特別委員会報告

委員長 福永 広子

インフルエンザ対策と今後の地域医療の進め方について、副町長・地域医療推進室長の出席のもと以下の課題について質疑と意見交換を行った。

◆ インフルエンザの流行状況について。

◆ 新型インフルエンザワクチン接種のスケジュールについて。

◆ 地域医療にかかる国の施策と町行政の方針について、特に「独立行政法人地域医療機能推進機構 法案」への取り組み方について。

終了後、地域医療にかかる全議員視察研修先について意見交換を行った。

福井県後期高齢者医療  
広域連合議会報告

議員 濱田 守好

■一般会計補正予算

20年度決算に基づき、剰余分1億240万2,853円を各市町に返還

■特別会計補正予算

20年度決算に基づき、療養給付費等の国庫負担金等や保険料の過不足を精算するため28億8,473万5千円の補正。

■療養給付費等準備基金条例の制定

保険料の剰余金の額、運用方法、処分事由等、透明性確保の基金設置管理条例制定

■連合職員の給与支給に関する条例の一部改正

県・構成市町の給与に関する条例の改正に準じて、当広域連合の職員の給与を改定

■広域連合個人情報保護条例の一部改正

統計法の改正及び統計報告調整法の廃止に伴い、当該条例改正

【以上5件を可決】

■平成20年度一般会計・特別会計歳入歳出決算認定

一般会計、歳入決算額4億9,177万7,942円、歳出決算額3億8,037万5,089円、差引1億1,140万2,853円を翌年度に繰越し。

特別会計、歳入決算額768億3,527万1,618円、歳出決算額741億4,118万3,

■舞鶴市・高浜町議会振興協議会

11月18日(水)舞鶴市において、第6回舞鶴市議会・高浜町議会振興協議会を開催した。

この振興協議会は、平成16年度から毎年、舞鶴市議会の2会派(創政クラブ、鶴政クラブ)の議員と高浜町議会議員全員が両市町の共通する課題について協議しながら、京都府や福井県などに要望活動等を行ってきた。

今年度も以前から課題となっている、高浜町関屋と舞鶴市多門院を結ぶ道路整備や主要地方道舞鶴野原港高浜線を舞鶴市水ヶ浦まで延

069円、差引額26億9,408万8,549円を翌年度へ繰越し。

【賛成多数で認定】

若狭消防組合議会報告

議員 福永 広子

第149回若狭消防組合議会臨時会が平成21年11月26日召集された。

伸することなど高浜・舞鶴間の道路問題について今後の進め方を協議したほか、鳥獣被害対策、地域医療問題についても意見交換し、今後も継続的に協議し、協力していくことを確認した。

■おおい・高浜振興協議会

11月20日(金)おおい町において、おおい・高浜振興協議会を開催した。

この振興協議会は、以前からおおい、高浜両町の議員が一堂に会し両町の共通の課題やそれぞれの課題について協議してきた。

今年度は、二瀬県議会議員の県政

■平成20年度若狭消防組合一般会計歳入歳出決算の認定

■平成21年度若狭消防組合一般会計補正予算(第1号)

■若狭消防組合一般職員の職員の給与に関する条例等の一部改正

■若狭消防組合火災予防条例の一部改正

■若狭消防組合監査委員の選任につき同意を求めると

【以上5件を可決】

報告の後、嶺南振興局長および小浜土木所長から大飯郡内における県事業の実施状況について説明を受け、今後の事業推進について要望した。

また、両町の有害鳥獣対策についてそれぞれ

の行政担当から説明を受けそれぞれの課題について協議した。



海外研修報告

議長 濱田 守好

今回の海外視察は、フランスとスイスである。原子力発電関係の先進地状況を視察するのが目的である。

紙面の関係上、各視察先の情報は、「広報たかほま」21年12月号での町長の「欧州原子力視察報告」にゆだね、所感を述べたいと思う。

フランスにおいては、行く先々で耳に残った言葉は、「法律で定められ遂行している」である。制定される前には、国民合意を得る努力はしているようであるが。

廃棄物処理にせよ、核燃料サイクルにせよすべてが国の法律により定められ、計画的に進められている。また、地域振興策でも、日本のような交付金や補助金制度はなく、地域自治体もことさらに不満が無いようで、雇用が増えたこと、国に貢献する誇り、事業税収入があることで満足している感がある。日本においては考えられないことである。

日本と比較するとき、フランスは核保有国であるということが、改めて再認識される。

今回視察したマルクールにしても軍事面での開発が進められたという大前提があり、国民意識も歴史的背景の中で、列強としての国家意識が強いという大前提を理解しなくてはならないのである。

交流をもった地域情報化委員会でも、大前提が国家意識のもとで原子力に理解がある上での活動との印象が強かった。

前述のように、廃棄物処理についても法律が制定されているが、その中で放射性廃棄物の埋設については「可逆性を持たさなければならぬ」ということがきめられていると聞いた。すなわち、地層に入れたものを、必要になれば取り出すことができるような手段、方法について考えること。また、将来の世代は違う方法を好むかもしれない。それも尊重できるようにすること。そして、科学というのは常に進歩していくから、今の結論が一番良いとは限らないし、自身の考え



フランス・ビュレ高レベル廃棄物研究所

が必ずしも最高とは限らないということとを認める誠実な姿勢を持つことが必要であるということである。少なくとも百年間は完全に地中に埋設することなく、いつでも取り出せるようにしておくそうである。

言い換えれば、時代の変化や国際情勢の推移を見て、いつでも他に政策転換ができるということである。

アレバ社においてもフランス国内の再処理だけではなく、日本はもとより世界各国にむけての、再処理における経営戦略を立てている。こういった面からも、強かさが窺うことも出来なくはない。

スイスは言うまでもなく、永世中立国として維持されてきているが、国民皆兵を国是として徴兵制が義務づけられていたり、軍事面でも重武装の国家である。政治参加にしても国民投票と国民投票という直接民主制度が憲法上認め



スイス・ZWILAG中間貯蔵施設

られているお国柄である。

スイスにおいてはアールガウ州ブレンリンゲンにある中間貯蔵施設を視察したが、原子力関連施設を誘致する場合においても、国民投票が行われているが、国民全体の意識の中で、電力が原子力に頼らざるをえないという意識が強い。ため、二面ナールバスになっている面はあるが、結果として国民から認められていることである。

やはり、国民の安全保障に対する意識は強く感じられた。

日本は、資源の乏しい国として、歴史的にみても多くの苦難を味わってきた。国家の安全保障として、食糧やエネルギーは常に安定的に確保する必要があり、そのための外交政策が展開されているのであるが、国民の意識についても原子力平和利用の分野においても、積極的に理解しうる時期に来ているのではないだろうか。

そういう意味では、我が高浜町の住民は大いに誇りを持つべきである。日本のエネルギー確保に、温暖化対策にこれほど意識が高く貢献している事実を各地に知らしめ、今後も先駆者として、積極的に取り組んでいくべきだと改めて意識させられる研修であった。

質疑・討論・採決

◆10月27日 臨時会

■議案第61号

文化会館大ホール舞台照明設備改修工事請負契約

採決

全員賛成により可決

■議案第62号

平成21年度高浜町一般会計補正予算(第4号)

採決

全員賛成により可決

■発議第6号

社会保険高浜病院の存続強化を求める意見書の提出

質疑

池田 康信議員

問 提出先の関係機関とはどこか。

答 内閣総理大臣、内閣官房長官、厚生労働大臣、財務大臣、文部科学大臣、経済産業大臣。また、コピーを県選出国會議員9名に提出。

採決

全員賛成により可決

◆11月20日 臨時会

■議案第63号

高浜町特別職の職員の給与および旅費等に関する条例の一部を改正する条例

質疑

田中 宏典議員

問 特別職の期末手当減額であるが、今後、町民にも負担を強いる可能性があるのか。

答 新年度予算編成も厳しい状況が予想され、事業の見直し、削減を行うなか、町民に負担、不便をおかけすることもあるかと思う。

質疑

山本 富夫議員

問 今回だけということか。

答 恒久的に行うということではない。

質疑

栗野 明雄議員

問 町長として、町内の経済状況をどのように把握しているのか。

答 事業者の借り換えの要望や、売り上げ減少幅の大きさを見ても厳しい状況であると認識している。

採決

賛成多数により可決

■議案第64号

高浜町一般職の職員の給与および旅費等に関する条例の一部を改正する条例

質疑

的場 輝夫議員

問 職員組合程度の意見交換ができる組織が、近代的な労使関係には必要ではないか。町長の見解を問う。

答 職員から声があがれば拒むものではないが、理事者側から働きかけるものではない。

ではない。

質疑

山本 富夫議員

問 ラスパイレス指数について詳しい内容の説明を。

答 学歴や経験年数別に平均値を出している。高浜町では大卒職員の指数が低い。

質疑

藤本 誠議員

問 副町長の発言に、小を抑えて大を取るとあつたが説明を。

答 国の交付税額算出に、自治体の人件費率も影響する。給与水準が低いのは、交付税額を多くするためだったとも考えられる。

質疑

渡辺 孝議員

問 近隣他市町の動向は。

答 給料は、福井市が0.27%、他市町が0.24%下げ。期末手当は、全市町0.35%下げ。住居手当は、福井市・越前市が減額、他市町は廃止。

反対討論

渡辺 孝議員

賃金は、労働力を維持し再生産するための必要経費。購買力が落ち、デフレスパイラルにつながる。

賛成討論

的場 輝夫議員

栗野 明雄議員  
民間の危機感に比べれば、公務員は守られている。勧告は妥当。

賛成討論

磯部 武史議員

職員の給与水準が低いことは別問題。早急に平均的な水準へ。

反対討論

田中 宏典議員

県人事委員会の調査は、嶺北中心。嶺北嶺南の職員給与にも格差がある。勧告を鵜呑みにすることは問題がある。

賛成討論

小幡 憲仁議員

納税者の負担軽減につながり、経済の活性化に役立つ。臨時職員との格差改善にも取り組む必要がある。

採決

賛成多数により可決

◆12月 定例会

■承認第4号

専決処分の承認を求めること

採決

全員賛成により可決

■議案第65号

平成21年度高浜町一般会計補正予算(第5号)

反対討論

渡辺 孝議員

一般職の給与、期末手当、勤務手当への削減が盛り込まれている。

賛成討論

小幡 憲仁議員

人件費減額は、臨時議会の議決に伴うもの。乳幼児医療費無料化が中学生まで拡大され期待する。全国瞬時警報システムは、安心安全につながる。

採決

賛成多数により可決

■ 議案第66号

平成21年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

採決

全員賛成により可決

■ 議案第67号

平成21年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第3号)

採決

全員賛成により可決

■ 議案第68号

高浜町振興計画審議会条例の一部を改正する条例

採決

全員賛成により可決

■ 議案第69号

高浜町乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

採決

全員賛成により可決

■ 議案第70号

団体宮中山間地域総合整備事業(一般型)高浜地区の計画変更

採決

全員賛成により可決

■ 議案第71号

高浜町道路路線の認定

採決

全員賛成により可決

■ 議案第73号

高浜町立小中学校情報教育システム備品購入契約

採決

全員賛成により可決

■ 同意第3号

固定資産評価審査委員会の委員選任

採決

全員賛成により可決

■ 諮問第2号

人権擁護委員の推薦につき意見を求めること

採決

全員賛成により可決

■ 請願第2号

政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府買い入れを求める請願

質疑

渡辺 孝議員

問

数字の整合性が取れていないとはどういうことか。

答 委員会では数字について具体的な議論はなかった。

理解できない。

答 総論を議論し、具体的な数字については意見がなかった。

■ 賛成討論

小幡 憲仁議員

政権交代により、すでに方針が決定

されている。

■ 反対討論

渡辺 孝議員

請願は、9月定例会で審議され継続審査となった。米価が暴落し農業が窮地に立たされている。すみやかに請願を採択すべきである。

採決

賛成少数により不採択

■ 陳情第4号

政府への日米間におけるFTA(自由貿易協定)締結に反対する意見書の提出に関する陳情

■ 反対討論

小幡 憲仁議員

現政府の農業政策は、関税による価格維持はやめ、それに伴い低下した農家所得については、直接支払い制度によって保証するものである。現政府の農政改革に反している。

■ 賛成討論

渡辺 孝議員

関税の引き下げや撤廃は、工業生産品や自動車など大企業には有利だが、犠牲になるのは農業生産品。日本の農業は壊滅的な打撃を受ける。

■ 賛成討論

栗野 明雄議員

本来なら自由貿易協定は進めるべきだが、現在の日本の農業を考えると急速な変化には危惧がある。

採決

賛成多数により可決

■ 陳情第6号

新保険業法の適用除外を求める陳情

採決

全員賛成により可決

■ 陳情第5号

心身障害児(者)ケアホーム設置に関する陳情

採決

全員賛成により可決

■ 議会運営委員会より

平成22年3月定例会の日程(予定)が決まりました。多くの皆様の傍聴をお待ちしております。

◆ 3月4日(初日)

本会議

(議案上程・質疑・委員会付託等)

◆ 3月5日～6日

予算・決算特別委員会

◆ 3月10日

総務産業常任委員会

◆ 3月11日

厚生文教常任委員会

◆ 3月12日、15日

一般質問

◆ 3月19日(最終日)

本会議

(委員長報告・質疑、討論採決)

前回の議会だよりから第一次産業の担い手として頑張っておられる皆さんに、表紙に登場していただいています。今回は高浜町鎌倉にお住まいの永野和夫さん(32)です。

永野さんは京都府立農業大学校を卒業後、家業の農業にお父さんの千太郎さん(62)やお母さん、おばあちゃんといっしょに取り組んでいます。また、認定農業者や青年農業者、青年林業士としても県から認定を受け高浜町の農林業の担い手の一人として活躍しています。

「漁火想」や「きてみなーれ内浦」等の高浜町が実施するイベントにも積極的に参加されリーダー的な存在にもなっています。



千太郎さん(父)と和夫さん

永野さんの1.5 haの畑では四季を通じてたくさんさんの農作物が栽培されています。冬期間の今はハウスでブロッコリーの収穫と来夏に収穫するブドウの手入れ、そしてハウスの周囲の除雪作業に追われています。(おじやました時は大晦日から降った雪が残っており多いところでは、30 cm程ありました。)



主に栽培しているのは、ブドウ(デラウェア・紅ふじ)、ユリ、花木、加工きゅうり、ブロッコリー、サツマイモ、トウガラシ等で、神戸や京都、舞鶴の市場に出荷するほか、農協の直売所などでも販売しています。町内では「きなーれ」(高浜駅西隣)等でも購入することができます。



冬になると

町内のスーパーの店頭で「カズオのヤキイモ」として石焼イモの販売もしています。



永野さんは取材の中で、「農業は作ることも大事ですがそれ以上に売ることを考えなければならぬ。」「販売先が決まれば農作物の生産にも責任が生じる」とおっしゃっていました。

永野さんの将来の夢は

「高浜町の人誇れる農業者、町民でありたい。」

そのために自分ができる精一杯のことを一生懸命がんばりたい。」

(田中宏典)



## 編集後記

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。今年一年輝かしい年と成りますようご祈念申しあげます。昨年は、日本にとっても大きな変革の年でありました。そのことを象徴する言葉を「新」という文字で締めくくられました。

今年は、昨年の教訓を生かす年にしたいものです。変革の時代であっても町民の皆様が安心できる取組みが大事だと考えます。我々議会議員も町民の皆様の付託を胸に頑張る所存です。又、議会広報として町民の皆様が開かれた情報を提供してまいりますので宜しくお願い致します。

山本 富夫

### 広報特別委員会

委員長 磯部 武史

副委員長 田中 宏典

委員 的場 輝夫

勝本 繁昭

山本 富夫

藤本 誠

